＜支部状況報告書＞

支部名	北九州支部	所属会員数	２８３名
記載内容	①現在の支部の活動状況　②今年度の活動方針　③その他　　等		
報告書作成者	（役職）　支部長　　（氏名）　　久保　惠一		

①現在の支部の活動状況

＜総会＞及び＜合同同窓会＞

１）コロナ禍の中、令和４年６月１６日（木）に総会を開催
医学部玉樹会、教育学部豊友会と合わせて、合同同窓会として開催、３７名参加

２）本年も、令和５年６月１４日（水）に、
「北九州四極会年次総会」と「大分大学合同同窓会」として開催、３８名参加

＜北九州三経戦ゴルフ会＞

昨年は、四極会当番で１０月２７日に開催、本年も、山口大学当番で開催予定

＜北九州三経戦囲碁会＞

昨年は、７月・１２月に２回開催、本年も、同月に開催予定

＜三水会（奇数月の第三水曜日１２時からの昼食会）＞

コロナ前は、毎月第一水曜日に開催していたが、回数を減らして開催
都合のつく方のフリー参加で、情報の交換、執行部の意思伝達に機能している

＜三経会　講演会＞

三大学が協力して、著名人を招聘し実学にプラスになる講演会を開催
過去には、ＮＨＫの会長やTOTOの社長など
本年の開催未定

②今年度の活動方針

１）年次総会・合同同窓会の開催
コロナも収束し、参加者の拡大を図る。イベント等の実施

２）北九州四極会財政の安定化
昨年より年会費値上げ（２千円⇒３千円）が出来たので、納入者の拡大

３）職域幹事体制の確立
企業の代表世話人体制を確立する。
第一交通産業に続く、安川電機・ゼンリン・ナフコなど

４）合同同窓会の活性化
四極会以外の、玉樹会・豊友会・翔工会への声掛け

５）三経会活動への取り組み
引き続き、講演会・ゴルフ会・囲碁会の開催

③その他

１）女子会へ予算計上しているが、なかなか形にならない。
参考になる事例があれば取り入れていきたい。

２）大御所、大先輩である「黒土　始」氏がご逝去された後の北九州四極会を
どのように方向づけするのか、支部構成員の英知を結集したい。

以上